

証券コード：2114

 **フジ日本株式会社**

# 第 **102** 期 中間株主通信

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日

## 社名変更について

2024年10月1日、社名をフジ日本精糖株式会社  
からフジ日本株式会社へ変更いたしました。

## 企業理念

私たちは、「夢のあるたくましい会社」を目指し、  
健康な生活づくりに貢献します。

## 経営方針

- ① 顧客第一主義の徹底
- ② 会社の発展と共に社員が成長する企業文化の形成
- ③ 公正で透明性のある企業活動の推進
- ④ 社会に評価される企業価値の向上
- ⑤ 社会に貢献する企業市民活動の充実

## パーパス

食を科学し、世界をパワフルに！

持続可能な生物資源から  
当社のフードサイエンス技術により  
新たな価値を創造し、世界をパワフルにします。

### CONTENTS

トップインタビュー	.....P 2	トピックス	.....P 6
セグメント別の状況	.....P 4	コーポレートデータ／インフォメーション	.....P 7
連結財務諸表	.....P 5		

## 「CHANGE」を掲げた中期経営計画のもと 新たな領域を目指して攻めの経営を実践します。



代表取締役社長 曾我 英俊

**Q** 上半期を振り返り、営業状況をご説明願います。

**A** 精糖事業につきましては、訪日外国人客が毎月約300万人と好調で、菓子関係のインバウンド需要が継続的に増加しています。一方で、全体的な価格高騰ということもあり、一般消費者の買い控えがありました。その結果、販売数量としては前期より下落という状況になりました。原料糖の仕入れについては、もっともベストな産地を選び、タイミングを見計らいながら買い付けを行い、さらに在庫コントロールでコストを減らすなど、引き続き経費削減に取り組みました。品質管理を徹底し、製品の安定供給で顧客満足度を高め、精糖販売促進をさらに進めたいと考えています。

機能性素材事業の主な商材である水溶性食物繊維「イヌリン」は、物性の改善や機能性表示などを訴求し、国内の食品メーカーへの販売数量が増加しました。海外においては東南アジア市況が回復基調にあり、タイ国及び東南アジアでの販売が堅調に推移し、増収増益となりました。国内外で高まる健康志向に乗じてニーズが高まっていますが、今後はヨーロッパや南米などの競合他社による価格攻勢もあり注意が必要です。当社は製造工場がタイ国にあり、短納期に対応できるなどの利点を活かして、さらなる売上増を追求してまいります。またペクチン、ゼラチン、コラーゲン等を販売する連結子会社ユニテックフーズ株式会社は、高付加価値品が好評で、収益性が大きく伸びました。

不動産事業については、旧本社跡地に昨年オープンしたビジネスホテル「東横INN茅場町駅」の賃貸収入が期初から寄与し、引き続き継続的な収益確保に貢献しています。

これらの営業活動の結果、当中間連結会計期間の業績は売上高、営業利益、経常利益とも増収増益となりました。

**Q** 社名変更についてお聞かせください。

**A** 精糖は当社の始まりであり、基礎となる事業ではありますが、国内では人口減少、資材価格等の高騰、地政学的リスクの高まりなど、不安定な社会状況が続いています。そこで当社は70年以上にもわたる精糖の歴史を大切にしながら、かねてより精糖以外の事業を伸ばす努力を続けてきました。また海外市場への本格シフトを進め、グローバル企業として地位を確立するべく、活動を続けています。

2023年11月に当社は「NEXT VISION 2040」を発表しました。この長期ビジョンを策定する際、30代、40代の若手・中堅社員でタスクフォースを結成し、議論を重ねてきました。これらの動きの中で、中期経営計画「CHANGE 2028」がスタートし、精糖メーカーからフードサイエンスカンパニーへの転換を目指して、いよいよ変革の時が来た、会社を変えていこうという流れが本格化したのです。そして社名の中から「精糖」という言葉を取るという結論に至り、2024年10月1日よりフジ日本株式会社としてスタートしました。

新社名に変更後、お客様、お取引先様からは「チャレンジが始まった」という姿勢を好意的に受け止めていただいています。「食を科学し、世界をパワフルに!」というパーパスを発表し、長期ビジョンを打ち出すことで、人財採用の面でもインパクトがありました。新卒採用だけでなく、キャリア採用についてもよい反応が出ています。

**Q** 中期経営計画「CHANGE 2028」の進捗についてお聞かせください。

**A** 東南アジアに焦点を当て、海外事業を伸ばしていこうという動きが進んでいます。タイ国には3つの事業会社がありますが、その中の1つであるFUJI NIHON (Thailand) Co.,Ltd.に増資し、完全子会社化いたしました。「イヌリン」など機能性素材商品の輸出拡大と同時に新たな事業開発に向けても活動を進めます。もともと「イヌリン」の海外営業は日本国内で行っていま

したが、駐在員を増員し、タイ国内で進めるという形になります。また近隣のインドネシアをはじめとする東南アジアは人口も多く、経済発展が進み、今後重要なマーケットとして存在感を増すことが予想されますので、営業活動を本格化していきたいと考えています。

フードサイエンス領域においては、サイキンソー社への出資参画をしました。同社が「細菌叢で人々を健康に」を理念に掲げ、腸内細菌叢検査サービス「マイキンソー (Mykinso)」を展開。個人の腸内フローラデータに合わせた食習慣やライフスタイルの提案で、誰もが意識しなくても健康になれる0次予防の社会を構想しています。我々の製造している「イヌリン」との親和性が非常に高く、協業を検討しています。当社もサイキンソー社より腸内細菌に関する詳細な情報を得ることで「イヌリン」の効用についての知見を広め、各食品メーカーへ訴求していく所存です。

ビジョン実現に向けた力強い組織作りにおいては、事業推進部を拡充しています。腸内細菌叢の事業や、M&Aを含めて新たな事業開発を実施する計画を進めています。中期経営計画では5年間で180億円の投融資予算を発表していますが、成長領域への積極的な投資を進めたいと考えています。社員に対しては、失敗を恐れず、勇気と行動力とチャレンジ精神を持って、大胆に進んでいこうと伝えています。



## Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

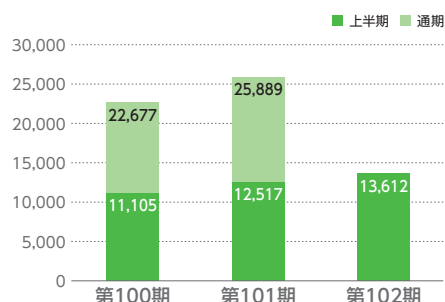
A DOE3.5%以上の配当方針を中期経営計画で掲げ、業績のアップダウンに関わらず、安定的な株主還元を進めます。また2024年10月に自己株式の消却を行い、株主優待制度の拡充も実施しました。従来の制度に加えて、500株以上1,000株未満保有の株主様には5,000円相当、1,000株以上保有の株主様には10,000円相当の自社製品詰め合わせを贈呈いたします。

「NEXT VISION 2040」においては、人的資本経営の推進を経営戦略の1つとして掲げています。社員が株主・投資家の皆様と同じ視点から経営に参画する意識を醸成するために、所定の要件を満たす当社社員に対して、譲渡制限付株式を付与いたしました。これを機に社員が一丸となって1つの方向を向き、「CHANGE 2028」を強力に推進していく所存です。株主の皆様方には今後も長期保有をお願いするとともに、引き続き、厚いご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

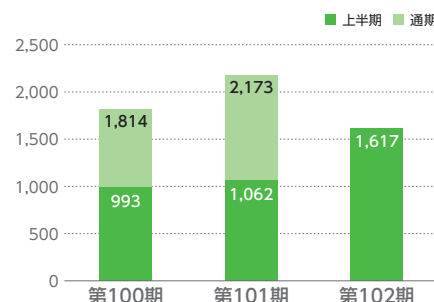
## 連結業績ハイライト

### CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS

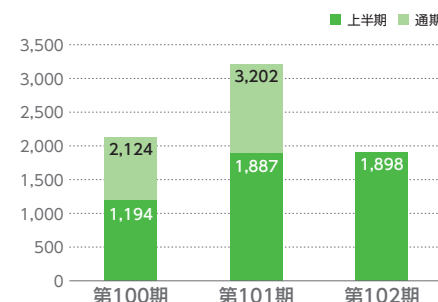
#### ● 売上高 (単位: 百万円)



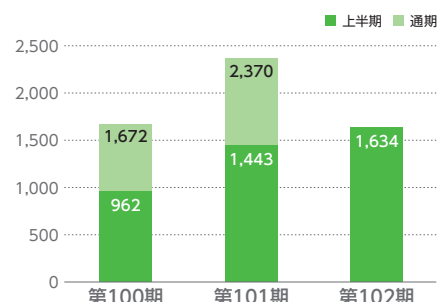
#### ● 営業利益 (単位: 百万円)



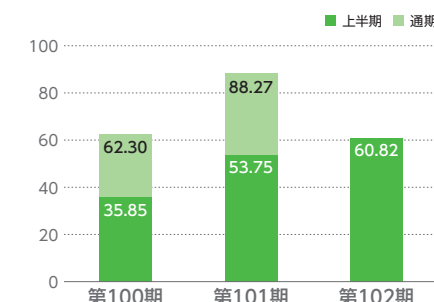
#### ● 経常利益 (単位: 百万円)



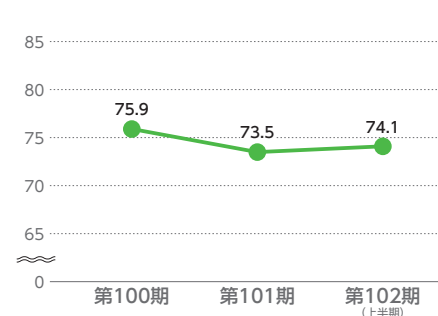
#### ● 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 (単位: 百万円)



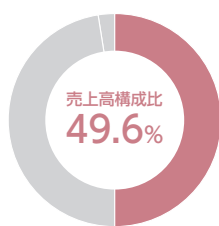
#### ● 1株当たり中間(当期)純利益 (単位: 円)



#### ● 自己資本比率 (単位: %)

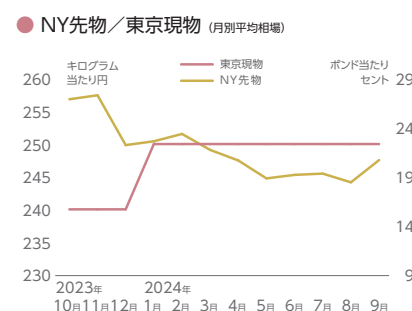
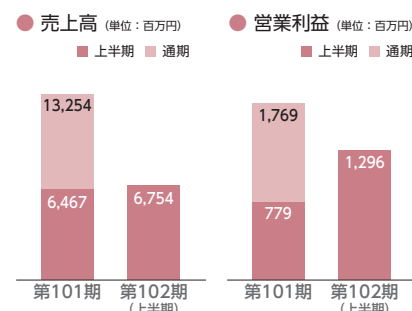






## 精糖事業

事業内容：精製糖、砂糖関連製品の製造販売を行っております。

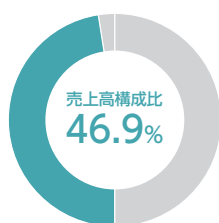


精糖事業につきましては、海外原糖市況は、22.65セント（1ポンド当たり）で始まり、ブラジルの2024/25年砂糖生産の好調な滑り出しを受けて下落し、8月中旬には17.52セントを付けました。その後、8月末にブラジルでの降雨不足と火災発生により、統計機関はブラジルの砂糖生産量に対し下方修正を行いました。これを受けて投機筋からの大規模な買いが入ったことで相場は急反発し、9月には23.71セントを付けました。月末にかけては値を崩し、22.67セントで当上半期末を迎えました。

期初	高値	安値	期末	平均
22.65	23.71	17.52	22.67	19.50

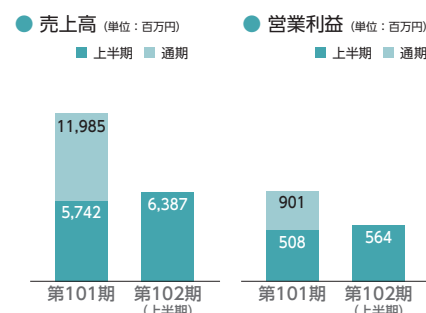
一方、国内製品市況は、期初東京現物相場（日本経済新聞掲載）が249円～251円（上白大袋1キログラム当たり）で推移しました。インバウンド需要の継続的な増加などにより、製品の荷動きが活況になりつつある中、菓子関係が堅調に推移しましたが、一方で価格高騰による買い控えがみられたこともあり、販売数量は前期比減となりました。しかしながら、営業体制の強化を図り、品質管理を徹底して製品の安定供給に取り組むことで顧客満足度を高め、堅実で安定した原料調達を図り、コスト削減に努めました。

この結果、売上高6,754百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益1,296百万円（同66.3%増）の増収増益となりました。



## 機能性素材事業

事業内容：機能性食品素材、食品添加物、切花活力剤等の製造販売、果実加工原料の販売を行っております。

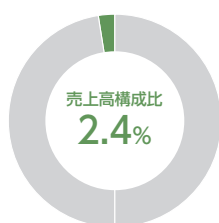


機能性素材事業につきましては、機能性食品素材「イヌリン」の国内販売は、物性改善や機能性訴求による夏向け商品への採用増により、前期比で販売数量が増加しました。

海外販売では、連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.において、東南アジアの市況が回復したこと、拠点であるタイ国での販売も堅調に推移し、増収増益となりました。

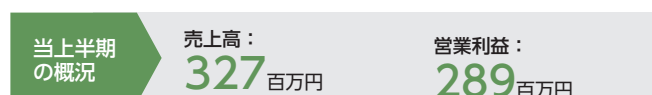
連結子会社ユニテックフーズ株式会社は、引き続き主力のペクチン、ゼラチン、コラーゲンで販売数量が大きく伸長した結果、増収増益となりました。

これらの結果、売上高6,387百万円（前年同期比13.9%増）、営業利益564百万円（同21.2%増）の増収増益となりました。



## 不動産事業

事業内容：当社が所有する土地建物の賃貸及びその他不動産関連事業を行っております。

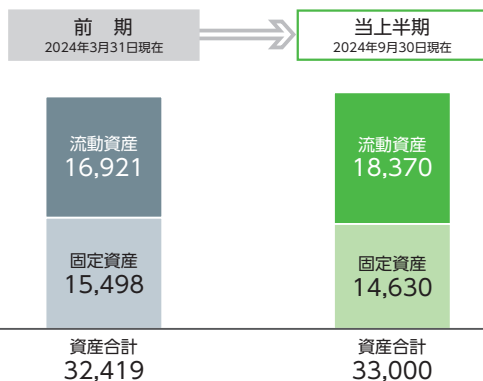


不動産事業の業績は、昨年9月旧本社跡地にビジネスホテル「東横INN茅場町駅」を建設し、賃貸を開始し収益貢献したこと、その他物件も安定稼働した結果、売上高327百万円（前年同期比13.2%増）、営業利益289百万円（同17.4%増）の増収増益となり、引き続き安定収益確保に貢献しました。

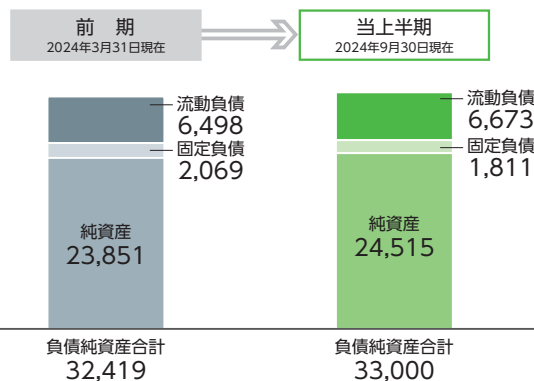


連結貸借対照表

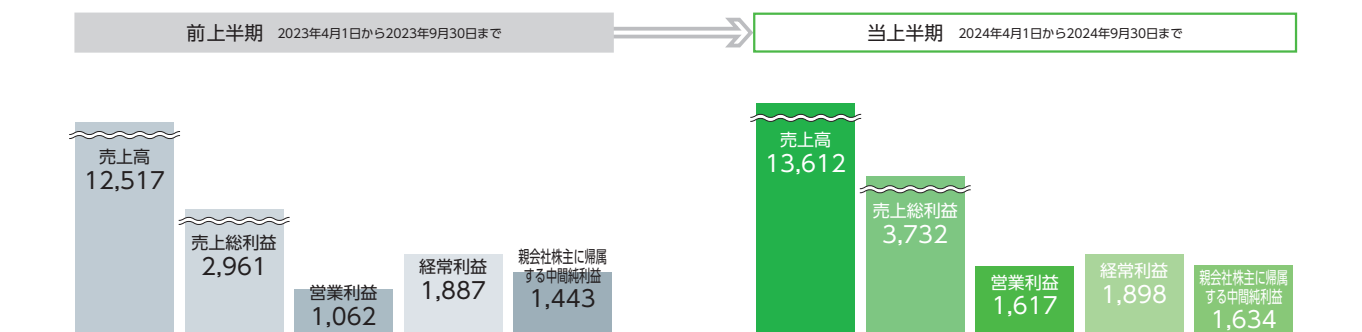
● 資産の部 (単位: 百万円)



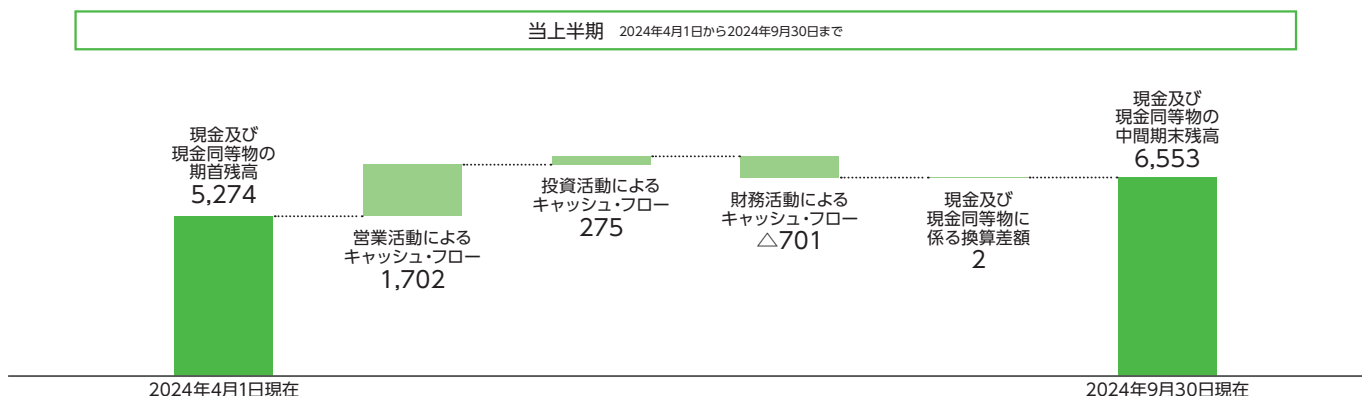
● 負債・純資産の部 (単位: 百万円)



連結損益計算書 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)



財務のポイント

● 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ8.6%増加し、18,370百万円となりました。これは主に現金預金の増加等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ5.6%減少し、14,630百万円となりました。これは主に投資有価証券の減少等によるものであります。

● 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ2.7%

増加し、6,673百万円となりました。これは主に買掛金の増加等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ12.4%減少し、1,811百万円となりました。これは主に繰延税金負債の減少等によるものであります。

● 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2.8%増加し、24,515百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益の計上による利益剰余金の増加等によるものであります。

## 2024年10月1日に社名を変更しました

本年10月1日、社名をフジ日本精糖株式会社からフジ日本株式会社と改め、新たなスタートを切りました。当社は、長い歴史に敬意を払い、「フジ日本」という美しい名前を引継ぎ、フードサイエンスカンパニーとして世界で闘う企業を目指してまいります。

# フジ日本株式会社

## 株主優待制度変更（拡充）のお知らせ

2024年7月31日開催の取締役会において、株主様満足度の向上を目的として、当社株式の所有数に応じて株主優待制度を拡充することを決議いたしました。

### 対象となる株主様

2024年9月末日時点における当社株主名簿に記載または記録されている株主様

株式数	優待の内容（毎年9月末時点）
100株以上300株未満保有の株主様	1,000円相当の自社製品
300株以上500株未満保有の株主様	3,000円相当の自社製品
500株以上1,000株未満保有の株主様	5,000円相当の自社製品
1,000株以上保有の株主様	10,000円相当の自社製品



1,000円相当の自社製品



3,000円相当の自社製品



5,000円相当の自社製品



10,000円相当の自社製品

## 会社概要

商号	フジ日本株式会社(2024年10月1日に社名変更)
英文名	Fuji Nihon Corporation
設立	1949年(昭和24年)7月
資本金	1,524百万円
従業員数	63名
本社所在地	〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町6番7号 電話 03(3667)7811(代表)
清水工場	〒424-0924 静岡県静岡市清水区清開一丁目4番10号 電話 054(334)5353(代表)
横浜共同生産工場	太平洋製糖株式会社 〒230-0053 神奈川県横浜市鶴見区大黒町13番46号 電話 045(501)0511(代表)
子会社	協立食品株式会社 ユニテックフーズ株式会社 Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd. FUJI NIHON (Thailand) Co.,Ltd. UNITEC FOODS KOREA Co.,Ltd. 株式会社Tastable
関連会社	DAY PLUS (THAILAND) Co.,Ltd. 太平洋製糖株式会社 マ・マーマカロニ株式会社 南栄糖業株式会社 上海唯覓食品有限公司

## 役員

代表取締役社長	曾我 英俊
取締役常務執行役員	関根 郁也
取締役上席執行役員	大橋 高弘
取締役	高橋 明彦
取締役	和田 哲義
取締役	埴原 正和
取締役	大越 いづみ
常勤監査役	梶田 伸哉
監査役	藤田 世潤
監査役	二宮 照興

## 執行役員

常務執行役員	和田 正
上席執行役員	新野 真人
執行役員	斎藤 寛
執行役員	谷津 裕司
執行役員	杉山 伸

## 監査法人

会計監査人	有限責任監査法人トーマツ
-------	--------------

## インフォメーション

INFORMATION

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
基準日	3月31日 なお、中間配当を行う場合は9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場取引所	東京証券取引所
公告方法	当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載URL <a href="https://www.fuji-nihon.com/">https://www.fuji-nihon.com/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

## 株式の状況

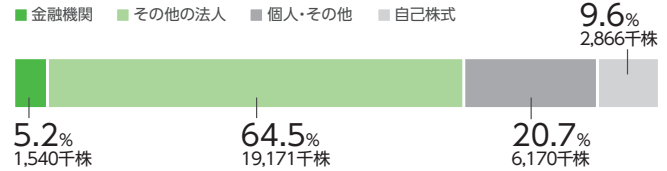
発行可能株式総数	110,000,000株
発行済株式の総数	29,748,200株
株主総数	23,742名

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
双日(株)	8,153	30.4
和田製糖(株)	2,393	8.9
鈴与(株)	1,902	7.1
豊田通商(株)	1,229	4.6
(株)静岡銀行	792	2.9
(株)榎本武平商店	758	2.8
小倉運輸(有)	669	2.5
新潟県砂糖卸受商業協同組合	600	2.2
(株)サカタのタネ	563	2.1
東京海上日動火災保険(株)	447	1.7

(注) 1. 持株比率は自己株式(2,866千株)を控除して計算しております。  
2. 2020年10月14日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書において、和田製糖(株)が当社の株式を保有している旨が記載されておりますが、株主名簿上の所有株式を上記大株主の持株数として記載しております。

## 所有者別株式分布状況



## 株価の推移 (東京証券取引所実績)

